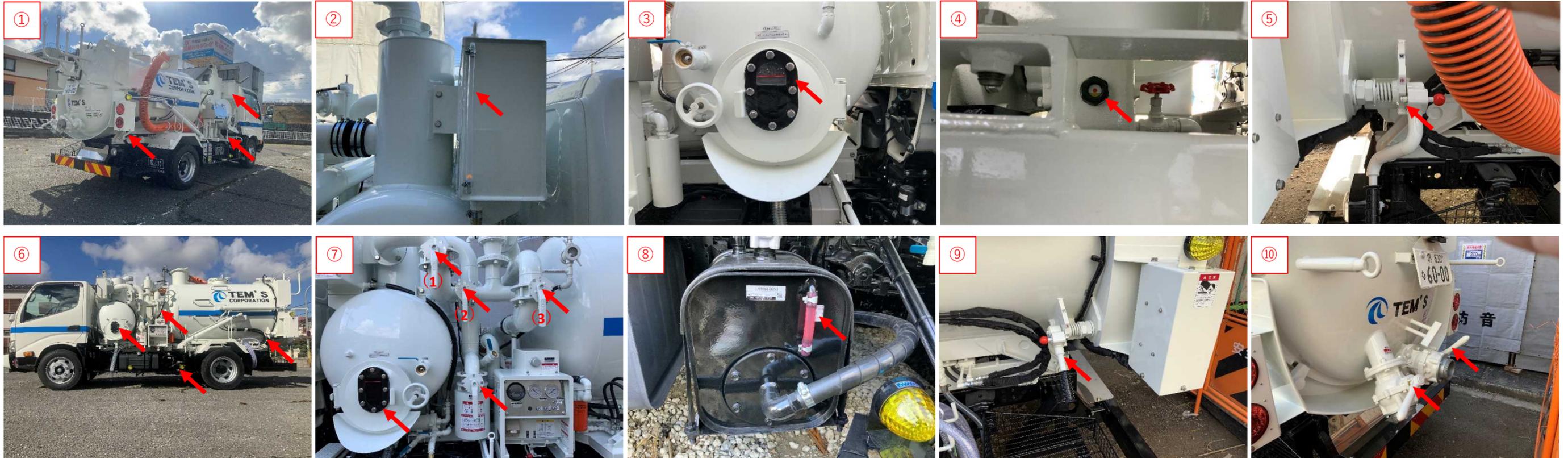


バキュームダンパー車 (MP-03BVP) 操作手順書 NO.1

●始業時



①予備タンク、4次キャッチャー、ハッチロック (右)

②予備タンクに規定水位まで水を貯める。

③4次キャッチャーに規定水位まで水を貯める。

④4次キャッチャー下方より覗き込み、ブロワオイル量が適量か確認する。

⑤ハッチロック (右) が確実にロックされているか確認する。

⑥3次キャッチャー、各操作バルブ、作動油、ハッチロック (左)

⑦3次キャッチャーに規定水位まで水を貯める。

切換弁 (1) (2) (3) が「吸引」になっているか確認する。

負荷開放弁が「開」になっているか確認する。

※各操作バルブはこの状態がニュートラル (基本) 位置です。

⑧作動油が適量か確認する。

⑨ハッチロック (左) が確実にロックされているか確認する。

⑩レシーバータンクの吸引バルブ、排出バルブが確実に閉まっているか確認する。

①～⑩まで確認後、車両エンジンを掛け、クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを押す。

※PTOスイッチを押したあとは、ゆっくりクラッチペダルを戻すように注意すること！

クラッチを早く繋ぐとPTOのユニバーサルジョイントに負荷がかかり故障の原因になります！

バキュームダンパー車 (MP-03BVP) 操作手順書 NO.2

●吸引作業



①負荷開放弁が「開」になっていることを確認する。

②切換弁 (1) が「吸引」になっていることを確認する。

③切換弁 (2) が「吸引」になっていることを確認する。

④切換弁 (3) が「吸引」になっていることを確認する。

⑤クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを入れる。

⑥スロットルを回し、エンジン回転数を1,350~1,550rpmにする。

回転数を合わせたら、スロットルが動かないようロックネジを締める。

⑦レシーバタンクの吸引バルブを「開」にする。

⑧負荷開放弁を「閉」にする。

⑨4次キャッチャーの水位が下がれば随時補充する。

⑩ブロワ循環水の水量を確認する。(水が回っていないければブロワが焼き付く！)

※吸引作業時の真空圧力は最高-96kPa。

吸引が強い場合は、「負荷開放弁」を「開」へ戻し調整を行う。

スロットルでエンジン回転数を下げるような調整は絶対に行わない！

バキュームダンパー車 (MP-03BVP) 操作手順書 NO.3

●吸引作業～停止



②①吸引作業一時停止、作業停止時は負荷開放弁をゆっくりと「開」にする。

②②真空圧が-30kPa以下に下がったことを確実に確認し、スロットルを完全に戻しエンジン回転数を下げる。

②③レシーバタンクの吸引バルブを「閉」にする。

②④クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを切り、エンジンキーを回し車両のエンジンを止める。

●圧送排出作業



②⑤負荷開放弁が「開」になっていることを確認する。

②⑥切換弁 (1) (2) (3) が「吸引」になっていることを確認する。

②⑦クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを入れる。

②⑧レシーバタンクの排出バルブを「開」にする。

②⑨スロットルを回し、エンジン回転数を1,200～1,400rpmに合わせる。

②⑩切換弁 (1) → (2) → (3) の順にレバーをゆっくりと「圧送」に切り替える。

※圧送圧力は最高0.07MPa (右ゲージ) だが、圧力を下げたい場合は、切換弁 (3) をゆっくりと「吸引側」へ戻し調整する。

圧送作業は連続15分以上 (1時間毎) は絶対に行わない! ブロワの焼付き事故の原因!

※圧送作業中に負荷開放弁は絶対に「閉」にしない!
※詰まり等生時は、切換弁を (3) → (2) → (1) の順に
レバーを速やかに「吸引」に切り替える!

バキュームダンパー車 (MP-03BVP) 操作手順書 NO.4

●圧送作業～停止



③①圧送作業一時停止、作業停止時は切換弁 (3) → (2) → (1) の順にレバーをゆっくりと「吸引」に切り替える。

③②スロットルを完全に戻しエンジン回転数を下げる。

③③レシーバタンクの排出バルブを「閉」にする。

②④クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを切り、エンジンキーを回し車両のエンジンを止める。

●排出、清掃作業 ※バキュームダンパー車周辺の立入禁止措置を確実にすること！！



③⑤負荷開放弁「開」、切換弁(1)(2)(3)「吸引」を確認する。

③⑥クラッチペダルを踏み込みPTOスイッチを入れる。

③⑦③⑧ハッチロック (左) (右) を解除する。

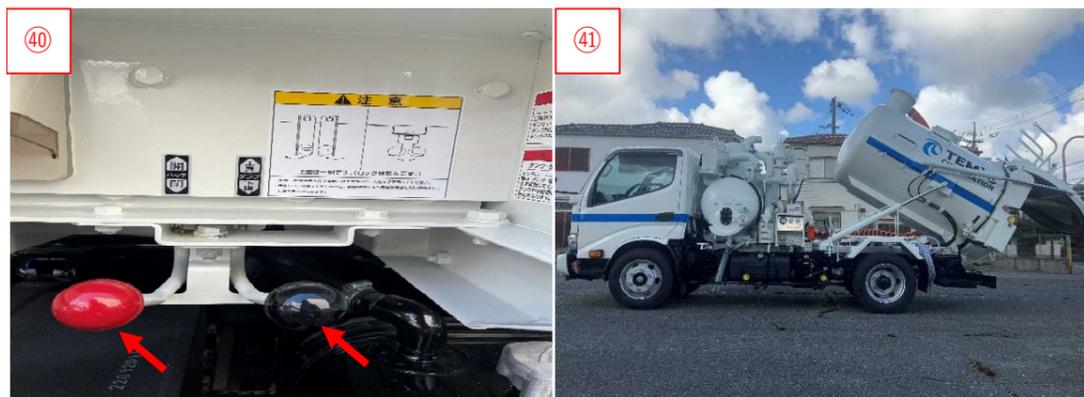
③⑨スロットルでエンジン回転数を1,000～1,200rpmに合わせる。

④⑩ハッチレバー (赤) を上げてレシーバーハッチを全開にする。

④⑪ダンプレバー (黒) を上げてレシーバタンクを上げる。

④⑫レシーバーハッチ挟まれ防止安全装置を「全閉」にする。

※清掃作業終了後は④⑫から逆の手順を確実にやる。



バキュームダンパー車 (MP-03BVP) 操作手順書 NO.5

●終業



●ブロワ内の洗浄



※真空圧力が-50kPa～-60kPaとなるように負荷開放弁を調整し、水をブロワ内に約10分間循環洗浄させる。

●ブロワ内の水抜き (冬季凍結防止、防錆措置)

